

会 議 録

会 議 名	第3回 (仮称) 八王子市交通マスタープラン検討委員会	
日 時	平成 26 年 3 月 26 日 (水) 13 : 30 ~ 15 : 30	
場 所	八王子市保健所別館 1 階会議室	
出席者氏名	委員	鹿島茂委員長、駒沢広行委員長代理、中島静雄、長谷川久、鈴木律子、宮瀬睦夫、田村央、渡邊治平、三澤正俊、古屋幸一(本間美紀夫)、西山徹、肥塚知成、高山恒明(奥雅希)、寺尾一彦(五十嵐幸司)、立石努(佐多謙一)、三木健明(永山輝彦)、内田瞭、木内基容子(設樂恵)、伊藤達夫(天野高延)、志村勝、西山忠(村野弘幸) ※()は代理出席者
	説明者	大木 昇主査
	事務局	坂倉 進次長兼交通企画課長、島田 涼子主任 ランドブレイン株式会社 2 名
欠 席 者 氏 名	なし	
議 題	(1)本市のこれまでの取り組みと交通の変化(交通結節点、生活道路、バリアフリー)について (2)目指すべき方向性と、施策方針について(案)について (3)その他	
公開・非公開・別	公開	
非 公 開 理 由	—	
傍 聴 人 の 数	なし	
配 布 資 料 名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次第 ・ 委員名簿 ・ 第 2 回 検 討 委 員 会 会 議 録 ・ 検 討 会 等 に お け る 主 な 意 見 に つ い て . . . 資料 1 ・ 本 市 の こ れ ま で の 取 り 組 み と 交 通 の 変 化 (交 通 結 節 点 、 生 活 道 路 、 バ リ ア フ リ ー) . . . 資料 2 ・ 目 指 す べ き 方 向 性 と 、 施 策 方 針 (案) . . . 資料 3 ・ (仮 称) 八 王 子 市 交 通 マ ス タ ー プ ラ ン の 全 体 構 成 (案) . . . 資料 4 ・ 検 討 ス ケ ジ ュ ー ル (案) . . . 資料 5 ・ 都 市 計 画 マ ス タ ー プ ラ ン 上 の 拠 点 と 進 行 中 の プ ロ ジ ェ ク ト . . . 参考資料 ・ 検 討 委 員 会 に お け る 主 な 意 見 に つ い て . . . 追加資料 	

会議の内容	<p>1. 委員長挨拶</p> <p>2. 議事</p> <p>(1)資料説明について</p> <p>【事務局】資料1～3について説明した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検討会等における主な意見についてについて（資料1） ・本市のこれまでの取り組みと交通の変化（交通結節点、生活道路、バリアフリー）について（資料2） ・目指すべき方向性と、施策方針（案）について（資料3） <p>【委員長】それでは質疑に入ります。ご意見はいかがでしょうか。</p> <p>【委員】都市計画マスタープラン上の拠点の位置で、小田野と小野田があるがどちらでしょうか。</p> <p>【事務局】小田野が正しい。</p> <p>【委員長】八王子市と他市との動きは概ね分かったが、市の中の地域間とは具体的にどのような交通が考えられるのか。病院や中心部への買回り品など、どのような人がどのような交通が使われるか。拠点を位置付けると、拠点間を結びたくなるが、利用者がいないと結んでも仕方ないが、これまでの分析の中で分かったことがあるか。</p> <p>【事務局】八王子駅周辺へは昼間は買物が、朝夕は通勤利用が多く、また、八王子インター周辺は物流拠点のため、就業、物流等が考えられ、拠点間は時間帯や場面により色々な交通が行き来すると思う。四谷から北野駅方面の動きは余りない。中心拠点を中心とした動きや、産業拠点への通勤・通学、物流等が考えられると思う。</p> <p>【委員】高尾山がミシュランの三ツ星に認定され、ケーブルカーの乗り場が満杯である。ケーブルカーを待っている間に、近くにある武蔵陵や南浅川の河川敷の桜、多摩森林公園などにも行ってもらえるようなミニミニ観光を行って欲しい。</p> <p>【委員長】交通でどこまで出来るか分からないが、事業者は新しいビジネスモデルとして参考にして頂きたい。</p> <p>【事務局】これまで昭和の道事業として、国、都と連携して歩きやすい歩道整備やポケットパークの整備を進めている。必ずしも高尾駅に来た方が使いやすくなっておらず、ターミナルとしてどのような機能が必要であるのかが課題と捉えている。また、八王子城へ行く路線バスは運行しているが、他の観光施設との連携が課題であると考えている。</p> <p>【委員】これまでデータの説明をして頂き分かり易いが、今後、このデータをどのように変えていくのか目標を定量的に示して欲しい。</p> <p>【委員長】次年度に検討することになるが、具体的なものを議論する論点に繋がっていくと思う。</p> <p>【委員】これまでの事業で上手くいったところと、評価できないところを明らかにし、反省と今後のビジョンを整理することが必要ではないか。例えば、町田市と八王子市の中心部を比べた場合、どちらが活気あるのか、考え方が違うが、交通の流れは積極的に計画的に行う場合と自然の場合では違ってくるのではないか。</p> <p>【委員長】議論は急がない方が良く、今年度は色々な論点を出すことになるが、行政と</p>
-------	--

して対策の評価は平成 17 年以降に進められ、今のところは進行管理の枠組みとなっている。八王子市は立派な評価システムがあると認識しており、前回計画で挙げられた施策の評価はこれから出てくると理解して頂きたい。前回計画でアイデアとしては良かったが、行政の判断で今回無いものもあると思う。マスタープランは色々な施策を盛り込み、色々な方向に向く危険性もあるが、今は焦らず出している段階と理解して頂きたい。

【事務局】前回計画で位置付けられている施策は 150 位出しており、今後一つ一つ評価していくことになると思う。人口の動きや、高齢化に伴い、社会の要求が変化している中で、どのような方向に向いたら良いのかを議論して頂ければと考えている。施策の評価はどの方向に向いているかによって、良いか悪いか逆転する可能性がある。

【委員長】それぞれの主張ではなく、多くの人に理解して頂く客観的なものにすることが大事だと思う。現状を無視して、新しいものに直ぐに移行するのは難しいため、施策の抽出のために、方向性をしっかりと決めていくことが必要だと思う。

【委員】方向性として高齢化に向けた交通体系は考える必要がある。前回計画ではユニバーサルデザインのまちづくりがあったが、今回はユニバーサルデザインという言葉は 1 箇所のみで、後はバリアフリーばかりとなっている。バリアフリーは何かを直してバリアを無くすことであるが、ユニバーサルデザインは予めバリアがないように計画していくことである。ユニバーサルデザインの交通体系を前提にしないと、方向性として高齢化に向かない心配があるので、是非検討して頂きたい。

【委員長】全くその通りです。今までは健康な人が使うことを前提に考えてきたが、社会の中で多様な方々に目を向け、まずはバリアを無くしてきた。目の不自由な方と車椅子の方では、困るところが違うが、順次に整備を進め、次のステップとしてユニバーサルデザインという考えになってきたと思う。高齢者が街の中で、どのような行動を想定するのか、あるいは商業政策の中でどのような買物をして欲しいのか。また、小さな車と今ある車を同じにするのか、小さな交通は、交通だけでなく、福祉やまちづくりと一緒に取り組むことが必要になると思う。

【委員】八王子駅、西八王子駅ともエレベーターがあって良いが、車椅子の方がタクシーに乗る際、縁石が高くて駄目。また、八王子駅北口にペDESTリアンデッキが整備されたが、タクシー乗り場に段差がある。各駅とも歩道と車道との段差が大きく、運転手が苦勞しているため、段差が無いように見直しをして頂きたい。

【委員長】大きなものは整備されても、工夫が必要なものは沢山あると思う。世田谷区では安心なまちづくりを考えた時、住民に街を歩き、意見を出して頂いたことを行ったことがあるが、このようなプロセスを行うこともあり得るかもしれない。

【委員】最近の車椅子はエンジンが付いて重いため、出来るだけ切り下げをして、トランクまで車椅子の方が来られるようにして頂きたい。

【委員】色々な建物等を建設する時、若い人だけの発想で整備すると、どうしても年を取って不自由にならないと気が付かないこともあるため、60 歳以上の方を対象にした会議を開催して頂きたい。

【委員長】今の 65 歳の方と、20 年前の 65 歳と同じ考え方か。20 年後、30 年後は今と感じていることと同じ考え方になるのか。重要なものは各年代で会議を開催して

も良いと思うので、行政内部で検討して下さい。

【委員】市内には町会・自治会が全部で563団体あり、町会自治連合会に所属しているのが323団体ある。町会自治連合会を22グループに分けて、代表者の会議が月1回開催されている。4月の第3週に、中核市で八王子市がどのように変わっていくのか、防犯カメラの設置という2つのテーマで、市長との懇談会を7～8人で行う予定となっている。去年の11月に第1回の市長との懇談会を行った際、JR八王子駅北口への一般車の乗入れについて議論が出された。中核市でどのように変わっていくのか、この交通マスタープランがどう活かされていくのか。この資料は市長に出されていますか。

【事務局】細かい資料は市長に見せていないが、このような委員会を開催していることは報告している。

【委員】町会では交通安全と防犯に取り組み、私の方で12町会の防犯・防災のデータを月に1回警察に届けている。町会の会議の中で、交通に関する問題点を投げかければ沢山出てくると思う。前回会議で道路に自転車の通行スペースがあったら良いという意見があったが、予算がもの凄く掛かると思う。このマスタープランで意見を具申する程度にするのか、予算化までするのか。マスタープランが出来上がった段階で、どう活かすのかが大事だと思う。

【委員長】色々な意見があったら、出して頂きたい。政策と施策、対策・事業の3つに分けると、マスタープランは漠としたものに近いもので、マスタープランにあるから直ぐに事業に入るものではない。ただ、方向性として皆様が共有した方が効率的になると理解して頂ければと思う。小さな自治体では、事業に近いマスタープランもあるし、理念的なものもあるが、八王子市は中間に位置していると認識している。

【委員】市民の生活者の立場としてやりやすいことを発言しているため、予算については行政や事業者の方で考えて頂きたい。

【委員長】この会議には組織の代表として出席しているため、意見が出しにくい面もあるが、出来れば個人として意見を出して欲しい。

【事務局】このマスタープランは2年かけてまとめるが、次にリーディングプロジェクトを作り、予算と連動させて、実行していくことになる。また、今後はチェックする仕組みも考え、実行できるように考えていきたい。

【委員】ハードの整備が終わってきて、これから利用者の視点で考えていくことが必要だと思う。1つは防災がキーワードになってきて、防災と交通をどのように結び付けるのか。生活道路では、人や自転車の安全確保だけでなく、延焼を防ぐ効果もあるため、移動だけでなく、防災と交通をどのように結び付けるかが大事だと思う。2月の大雪では国道が長い期間除雪が出来ず、通行できなかつたり、バスが運転できなかつたり、物流やゴミ収集が止まるなど色々な不都合が生じた。利用者の立場からどのような優先順位で除雪を進めていくのか、整備されたものを市民の視点でどのような順位で管理していくのかといった視点が必要だと思います。2点目は、高齢化の進展や自動車交通が減少している中で、TDM施策を続けていくのかが視点としてあると思う。続けるのであれば、自動車交通が減った分、車線数を減らし、一方通行やゾーンの規制により歩行者や自転車に優しい道にするとか、道路整備だけでなく、利用する

観点で施策やデータの整理をして頂くと良いと思う。

【委員長】高齢化にとって1～2km歩くのは大変であるが、運転免許証を積極的に取り上げるような施策を進めて良いのか疑問が残る。一方で、交通事故は高齢になる程、増えているが、自動車自粛という言葉を使う場合、色々と連動させて考えて頂きたい。また、利用者の視点として、主にソフト面にウェイトを置き、市民に評価して頂くことも大切だと思う。

【委員】高齢化社会が進む中で、バスが利用できない方はタクシーを乗合で利用できるように、各地域にタクシーの乗合所等が出来れば、良いことだと思う。

【委員長】是非色々と工夫して頂きたい。自宅近くには狭い道路で、消防車が入れない道路もあると思うが、そこまでこの計画で手を入れるかどうか。生活道路については粛々と進めているが、もっと積極的に行った方が良いのか。住宅地の場合 30 km/h までとか、中心市街地内は 10～15 km/h とか、走っても良いが、条件を付けるとか色々とバリアがあると思うが、トライすることで知恵が出てくると思う。

【委員】タクシー運転手には、彼岸の季節だけ、高尾の霊園の中は 20 km/h 以下で走行するように指導しており、事故もなく毎年行っている。

【委員】以前高齢者の方から聞いて欲しいと言われた。八王子駅北口周辺から富士森公園へバスで行く時や、逆に南口周辺からいちょうホールへ行く場合、乗り継がないと行けないため、1本で行けるようなバスが運行されたら良いのではないか。

【委員長】バス路線の再編は、今の路線を変えても上手くいかないという意見と、再編したら良くなるという意見がある。バスは遅れが問題で、このマイナス面を少なくしていき、ネットワーク、乗継とステップを踏んで考えていくことが必要だと思う。

【委員】南北方面のバスは社会実験を行ったが、利用者が少なかった。

【委員長】日本の入院日数は、アクセスが不便なため、外国と比べて長いようである。他にご意見ありますでしょうか。無いようですので、それでは事務局にお返ししたいと思います。

(2)その他

【事務局】次回第4回目の委員会の日程については、7月下旬を予定しております。後日、事務局より開催通知を送らせていただきますので、宜しくお願い致します。

3. 閉会